

評価事例 10

単 元 名	第6学年 Unit 2 How is your school life?
単 元 の 目 標	自分のことをよく知ってもらうために、普段の生活の様子や大切にしているものについて、話すことができる。 「話すこと [発表] ア」
言 語 活 動	動画を撮影して、他校のALTに自己紹介をする。自分のことをよく知ってもらうために、住んでいる地域や普段の生活の様子、大切にしているものなどを発表する。他校のALTを直接招いたり、オンラインで中継をしたりすることも考えられる。

評価の進め方

児童は3～5人のグループに分かれ、グループ内で1人ずつ発表させ、その様子を動画で撮影する。教員とALTは、発表の様子を見ながら分担して評価をする。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 動作や頻度、身の回りのものなどを表す語句や I live in ～. I go to ～. I usually ～. My treasure is ～. の表現について理解している。 <技能> 普段の生活の様子や大切にしているものについて、上記の語句や表現等を用いて、話す技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもらうために、普段の生活の様子や大切にしているものについて、話している。	自分のことをよく知ってもらうために、普段の生活の様子や大切にしているものについて、話そうとしている。



思考・判断・表現の判断基準

A：十分満足できる状況	「B」に加えて、既習の語句や表現を用いて、更に詳しく伝わるように話している。
B：おおむね満足できる状況	住んでいる地域や通っている学校、普段することや大切にしているものを話している。
C：努力を要する状況	「B」を満たしていない。

評価例 (S = 児童, T = 教員)

Aとなる例	Bとなる例	Cとなる例
I live in Natori in Japan. I go to Mitazono Elementary School in Natori city.① I usually watch anime on weekends. My treasure is this key chain. I like this anime character.②	I live in Natori in Japan. I go to Mitazono Elementary School. I usually watch anime on weekends. My treasure is this key chain.	S: I live in Naroti in Japan. I go to Mitazono Elementary School. I usually watch anime on weekends. ... T: 大切にしているものは何ですか。 S: My ...
理由 住んでいる地域や通っている学校、普段することや大切にしているものを話しているだけでなく、①in Natori city と情報を付け加えたり、②I like this anime character. と自分の気持ちを加えたりして、更に詳しく伝わるように話している。 Do you like anime? などと聞き手に呼び掛けることも考えられる。	理由 住んでいる地域や通っている学校、普段することや大切にしているものを話している。	理由 住んでいる地域や通っている学校、普段することは話しているが、大切にしているものを話していない。そのため、自分のことが十分に伝わらない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「C：努力を要する状況」と判断した児童に対する指導や支援については、「指導・支援アイデア集」を参照 </div>

指導のポイント

・伝える相手を他校のALTや他の学級の児童、他校の小学生などと設定することで、児童に相手意識を持たせる。
 ・小小連携の例として、撮影した動画を見合ったり、オンラインで紹介し合ったりするなど、他校の小学校と交流することも考えられる。